

令和6年11月21日 第2回地方創生推進会議

出席委員 長曾我部会長 小椋副会長 山根委員 吉田委員 吉川委員 手嶋委員（代理） 井上委員 生田委員	
開会	
会長	久しぶりの会。ぜひご意見を。
協議事項（１）前回のご意見と回答（令和５年度効果測定）	
事務局	<p>資料１の説明。</p> <p>協議事項（１）令和５年度の点検に対するご意見。これに対する回答と若干の説明。</p> <p>第１節 農業の振興 施策の基本的方向。</p> <p>耕作放棄地の面積は和元年度よりも倍以上、令和５年度の期末実績 76.6 ヘクタール。抜本的な解決は難しいので実態に合った KPI に変えてはというご指摘・ご意見を頂戴した。増えた原因は、耕作放棄地そのものの増加に加え、調査の精度が上がったため。KPI の修正についても必要に応じて行っていきたい。</p> <p>具体的施策。</p> <p>（１）農産物のブランド化の推進。主要品目の単価は、スイカ、ねばりっこ、ブドウはそれぞれ１割アップを達成。新規就農者の参入支援で求人者数が若干の遅れ。イチゴの産地化の取り組みも遅れている。</p> <p>商工業の振興。</p> <p>具体的施策の商工会の会員数は令和７年度の目標数値に対して達成。町内起業家数も４年で 21 件、こちらも達成。職業能力向上研修者の正規雇用者数の目標に委員から意見を頂いた。町内で実施している職業訓練の受講生と町内の企業とのマッチングの仕組みがあればということ。課題として捉え、商工会の力もいただきながら検討する。</p> <p>観光の振興。</p> <p>具体的施策の青山剛昌ふるさと館の入館者数はコロナの影響で一時 8 万人台まで減ったが、令和５年度に年間 18 万人と回復。目標数値は令和 7 年に 20 万人だが、令和 6 年度で伸びると見込んでいる。</p> <p>道の駅「大栄」の立ち寄り客数。令和元年の 31 万人がコロナの影響で 24 万人に減り、令和 5 年度の期末数値が 30 万人と、コロナ前の数字にかなり回復。</p> <p>広域観光の促進。</p> <p>中部 1 市 4 町の広域的な圏域に意見を頂いた。令和 5 年度は基準値との比較で 80%以上増加と大きな成果。しかし、波及効果が地元にとれただけあったかというご意見。たくさん観光客が来れば、十分波及しているという認識。</p> <p>環境エネルギー施策の推進。</p> <p>施策の基本的方向性の再生可能エネルギーの導入量。令和 4 年度の段階で令和 7 年の目標数値を達成。</p> <p>具体的施策も三つ、家庭用の総エネ設備の設置件数、みらい電力の立ち上げ、公共施設のエネルギー活用契約率がそれぞれ令和 7 年度の数値を達成。</p>

	<p>第2章、住みたくなる・住み続けたいまちづくり</p> <p>第1節子どもを産み育てやすいまちづくりの具体的施策</p> <p>(2)の子育て世代への支援と、幼児教育・保育サービスの充実で、令和5年度の期末時点のこども園の入所待機児童数は4月の最初はいいけれど、途中入所の要望に対して職員数の確保が難しく、10人の待機児童が出ている。</p> <p>放課後児童クラブの待機児童数については、待機なし。</p> <p>第2節未来をつくる教育の推進。</p> <p>具体的施策(1)地域を支える人材の育成で、地域や社会を良くするために何をすべきか考えたことがある生徒の割合に対するご意見をいただいた。小中高の連携でレインボープランがあるが、高校が魅力的でないとプランが破綻してしまう、というご意見。</p> <p>これについては、連携した取り組みが児童生徒の学ぶ意欲を高めている。同時に小中学生にとってはその地域や学校でしか学べない授業・実践が含まれていて、高校の魅力を小中学生が感じられる取り組みとなっている。質問は高校そのものの魅力化だが、町でも昨年から高校魅力化に取り組んでいるので、徐々に浸透していくと考える。</p> <p>鳥取県の課題に対してアイディアがある高校生の割合は、中央育英高校の地域探究のアンケートの数字になるが、これは年によってばらつきがある。令和5年度については、アイディアがある生徒の割合が62.8%で、令和4年度と比べて増加。</p> <p>不登校児童生徒の出現率でご意見をいただいた。学習支援事業は元々不登校対策ではなく貧困対策だった。小中学生だけではなく、高校以上の世代も多くの人との関わりを持って自己肯定感を持ち、貧困対策のみならず教育環境の拡大に繋がるというご意見。</p> <p>これについては、小中学生以外への貧困対策事業として北栄町では音田教育振興基金の活用や高校生の通学費助成等によって、高校生を持つ世帯の経済的負担の軽減を図っています。今後も県と連携をしながら、幅広い世代への学習支援、学習の保障に取り組んでいく。</p> <p>移住定住の促進。</p> <p>施策の基本的方向の移住者数。令和7年の目標75人に対し令和5年度末の数字が年間77人で、多くの方に移住していただいた。</p> <p>具体的施策の北栄暮らしの支援に意見を頂いた。</p> <p>県外から転入してくる方に対する補助金で、交付される際の条件はあるかというものの、移住者の住宅支援や、定住者の住宅支援は、5年以内に町外に転出した場合、期間に応じた返還を求めることが規定してある。</p> <p>以上、特徴的な部分と、いただいた意見に対する回答。</p>
会長	意見に関する確認や質問があれば、なければ次の説明を。
協議事項(2) 令和6年度 中間期 総合戦略の効果測定	
事務局	<p>資料2。令和6年度9月までの中間点検の説明。</p> <p>農業の振興の施策の基本的方向。</p> <p>町内農業の総生産額は、昨年からやや遅れがあるものの上昇。ただし、担い手不足による作付面積の減少が見られ、農家の方の離農がある。</p>

	<p>耕作放棄地についても 88ha で、期末よりも増え、調査精度が上がったことに加えて、放棄されているところが増えている。</p> <p>具体的施策の（２）、新たな商品開発。</p> <p>上半期では 0 件。道の駅ほうじょうのオープンに向けて、これから先の取り組み・皆さんの意欲向上に期待をしたい。</p> <p>商工業の振興。</p> <p>商工会会員数、町内企業者数は令和 7 年の目標を既に達成。創業支援認定者数は去年の期末の 7 件に対して今回は 6 件。</p> <p>観光の振興。</p> <p>施策の基本的方向で北栄町の観光見込み客数は、中間時点で 47 万 9000 人、倍にすると 90 万人ぐらい。去年の期末を考えれば、多くのお客様が北栄町にお立ち寄りいただいている。BBQ 棟の効果もあり、キャンプ場全体の 3 割以上の利用。</p> <p>具体的施策の青山剛昌ふるさと館の入館者数。</p> <p>令和 5 年度末が 18 万人。今年度は上半期に既に 13 万 7000 人で、回復方向。</p> <p>道の駅大栄は去年の 30 万人に対して、今年上半期で 18 万人。目標の半分以上で回復をしてきている。</p> <p>環境については、施策の基本的方向、具体的施策の（１）ともに令和 7 年の目標数値を達成。省エネリフォームの戸数について進むように、担当課も町報で案内やアナウンスをしている。</p> <p>第 2 章第 1 節。子どもを産み育てやすいまちづくり。</p> <p>具体的施策で、育児について相談したり話をしたりする人があると答える人の割合の目標は 100%。令和 5 年度は 99%で話ができない、話をする人がいない人がわずかにいたが、今回は 95.3%でさらに減った。担当課もいろいろ考えている。</p> <p>子育て世代への支援と幼児教育・保育サービスの充実。</p> <p>こども園の入所待機児童数は今時点で 0 人。放課後児童クラブについても 0 人。</p> <p>未来をつくる教育の推進。</p> <p>施策の基本的方向。「健康な体と体力づくりに取り組む。」とあるが、取り組みの内容に学校関係のことはあっても、体力づくりとかそういったものがない。教育関係は単に学校のことだけではなく、社会教育、地域における体力づくり環境という視点が必要というご意見。</p> <p>期末を待たないと数値が出ないものがあり、基本的方向、具体的施策とも判断できないものがある。不登校児童の出現数についても同様で、去年の数値も国が令和 5 年 10 月に発表したものが 12 月頃にわかったという経過があり、今時点では数値なし。</p> <p>移住定住の促進。</p> <p>施策の基本的方向の移住者数で、去年は 3 年の目標 75 人を上回ったが、今回は 33 人で、倍にしても 66 人。今年についてはやや下回っている。</p> <p>具体的施策にあるように、移住相談会等を通じて多くの人に興味を持っていただく取り組みが必要。移住相談会の回数、参加が 3 回ということでやや遅れている。</p>
--	---

	以上が、令和 6 年度の中間点検の説明。委員の皆さんのご意見を願います。
会長	まだ令和 6 年度が進行中の話なのでなるべく意見は多い方がいいかな、と思う。
委員	<p>移住定住支援で、中間の実績人数は下回っているということだが、人の取り合いになっていると思う。テレビでも関東周辺のいろんな自治体に移住する番組や情報を見かけるが、北栄町が選んでもらえる確率は少なくなっていると思う。それでも 33 人が移住していることはすごい。33 人でも目標に達していると思うが、施策として広報 PR が必要。その場合の人数が 75 人で妥当なのかということを考える必要がある。</p> <p>農業の振興の商品開発 0 件。かつては農業をしている人方がグループを作って、ケチャップや味噌などを作っていた。子育てが離れた 40 代 50 代 60 代のそういったグループが見られなくなった。企業がもし、商品数を増やしたいのであれば、そういった農業関係の方たちの組織化を進めてやってもらうのも方法だと思う。</p>
事務局	<p>最初の目標数値の人数。これだけ来ていただくだけでもありがたいが、北栄町人口ビジョンで、いかに 2040 年の目標人数を達成するか、持続可能な町にしていくためにどこに手をかけ、人口が下がらないようにしていくかを考え、この目標を設定している。一層多くの人に来ていただきたい。目的にもなるので、町としては人口を大事に捉えていきたい。</p> <p>加工については、担当課の考えがあるので、様々なところを通じての話になる。加工品は漬物とかの規制が強くなり、色々な機械を入れないと売れない状況になってきた。</p>
委員	先ほど話があった商品開発の件、今年度から道の駅ほうじょうや道の駅以外の商品開発の補助金ができ、相談があったら補助が手厚いのでそっちに流してしまうということがある。補助金に関しては 6 次産業化なので、農家・生産者でないと申請できないので、商売で食品加工品を開発・販売することは、この補助金の対象外。
委員	組織化を本当にしていくような流れ、働きかけをして、どこが成功するというのではなくアピールしたらいい。
委員	加工は、農家の集まりでやっていたところが高齢で辞められるところがある。
委員	<p>考えているのが、ねばりっこチップス。あれを作っているところが、今年の夏ぐらいで辞めるという話を聞いて。町の産品で、それがそのままお菓子として出せるということでお土産を春から販売させてもらったけど、それがなくなってしまうことで、そういったことの支援はあるか。</p> <p>高齢化で。10 何年やってきて、平均年齢が 80 何歳になって、数量が作れない、コロナの前に止めようと決心をされたけど、コロナで資材がそのまま残り、それを消費してから終わりにしようというのが今の段階。その火を消してしまうのはもったいないと思う。せっかくなので、我々も PR しながらやっていきたい。</p>
委員	町内の事業者の方？
委員	JA の加工団体で、そこが止められるので、非常にもったいない。
委員	多分、手作りでは。コスト計算すると採算が合わないのでは。
委員	採算は合わないし、材料などの値上がりもあって。ただ作り手のノウハウがあるので、組織化・高度化で、何か変わるかもしれない。

委員	農の雇用の求人者数の基準が 15 人で、その次の年は 67 人、その次の年は 24 人、令和 4 年が 1 人と、かなり極端に数字が動く。北栄町は農業が元気な町というのはわかっているが、スイカや、長芋、ラッキョウ、かなり元気なはずが、なぜ数年求人者数が低いのか。雇いたいと思う人がいなくなったということだと思いが、理由を探らないと、事業のやり方が変わってくる。理由は。
事務局	農の雇用は令和元年よりも前からやっている。一番利用が多かったのはらっきょう。切り子の募集が多く、だんだんと顔見知りになり、仲介をしなくても直接雇用が始まった。
委員	常時雇用だと正社員みたいだが、そうじゃなく収穫時期だけ？これでは数字が上がらない。
事務局	農家の方に聞くと、その季節だけといっても人が足りない。西瓜農家でいうと収穫する人が足りない。しかし、誰でもいいわけではなくて、経験者がいいと言われる。ニーズはあるけどマッチングまでいかない。

協議事項(3)第2期総合戦略の見直しについて

事務局	<p>資料 3 の説明。総合戦略を変更する話を以前から進めていた。</p> <p>背景は国がデジタル田園都市国家構想総合戦略に合わせて、変えていこうということがあり、北栄町でも変えるよう進めていたが、北栄町では一番大きな計画にまちづくりビジョンがあり、その下にまちづくりビジョンの方針や方向性に沿った形で総合戦略を作っている。そのまちづくりビジョンの見直しが来年度になるので、総合戦略を先に改定し、まちづくりビジョンの考え方と齟齬があってはいけないということで、見直しのストップをかけた。</p> <p>今回、改定の必要性が出てきた背景は、町で国の交付金を活用する案件が出てきた。国の交付金を使うためには自治体の総合戦略に盛り込む必要があり、総合戦略にあるから国の交付金を活用するんだね、という立て付け。総合戦略に全くないにも関わらず、思いつきで国のお金を使おうとしないように、ということ。現在そういうことを検討している。そのため、総合戦略に必要事項を盛り込んでいくもの。</p> <p>今の第 2 次総合戦略は②番のところ。令和 8 年 3 月を終わりに設定しているが、令和 8 年 4 月からではなく、申請を早速、今年度中にでも出していきたいという時間軸。今のうちに改正し、事業の財源確保を進めていきたい。</p> <p>③番、総合戦略の見直し項目の精査をしている。町だけではなく、まちづくりに精通した民間の力も借りながら、総合戦略のどこに盛り込むかを考えている。国の交付金を使うための目標と、町の計画のすり合わせが重要なので、それを待ってから、皆さんに周知したい。</p> <p>④番、変更箇所が判明した時点で書面やメールでデータを送り情報共有をして、皆さんの意見を頂きながら改正を進めていきたい。</p> <p>今一度確認をしておかないといけないのが、体系図。一番上にまちづくりビジョン。その下に人口ビジョンや総合戦略。人口ビジョンは個別の計画の影響は受けないが、総合戦略は個別計画の一部と関連するので、矛盾が起きないようにすること、各課の意見も拾いながら進める。</p>
会長	新たに国のお金を活用するために総合戦略を変える必要があり、この会議はその総合戦略を検討したり確認したりする会議なので、変える内容に関しては準備中で、書面で今後確認して、もらう予定ということ。よろしいですか。

協議事項(4)その他

会長	<p>その他。全体の感想でもあれば。お気づきの点とかあれば。</p> <p>気になったのは人口の目標が高すぎるのか、それとも今後を考えるとどれぐらい確保が必要かで、後者であれば、他町と比べて情報発信が弱い。移住定住で例えば琴浦町の空き家のホームページの魅力や、大山町は移住のサテライトセンターがある。北栄町はそういうサテライトセンターがないので、あえて言うと、人の奪いに負けるかも。コナンの強みがあるのでホームページは皆さんが見ると思う。そのときに今のホームページ。地域おこし協力隊とか、移住者の方を活用して、移住者で得意な人が移住コンシェルジュになって、その人が現場を案内するように。内部で無理なら、外部の移住者を活用して、ホームページもやってもらうような支援を検討してもいい。移住定住をよその自治体と競っていくなら。それを町職員が今の体制でやるのは大変だと思う。他町を参考にして。</p>
委員	<p>同じく移住定住で、今の移住定住は住民票をそこに移すということ。今、町は交流人口とか、関係人口、そういったものに取り組んでいる。副業人材だとか、ワーケーション、おてつたびとか、いろんな取り組みをしているので、そこも PR すればいいし、最近は二拠点居住もいわれているので、住民票を移すだけではなく PR が大切。</p>
委員	<p>教育で子供の体力づくり。運動も継続しないといけない。日頃の 5 分 10 分をずっとやり続けて 1 年、2 年と経ったときに、すごく生きてくる。試合前にやろうと思ってもなかなかできない。簡単なことでもいいので、やり続けることが、体力づくりなる。そういう 5 分、10 分を学校の中に入れるといいと感じた。</p> <p>あとは中学校の部活動。地域移行の話があるが、それなりの部活で終わってしまう。八頭中はホッケーが強くて、町を挙げて取り組みをしている。特色をつけた競技を、大栄中や北条中で作り、教化することで憧れの中学校になり、小中高と繋がっていけば、知名度になる。戦略的に決めて、今までの選択肢に加えてみては。</p>
委員	<p>北栄町は子育ての内容はとてもいいものがあると褒められる。こども園も小学校も手厚く、子供たちに、人手や予算をかけ、子供のための良い環境があるにもかかわらず、それがあまり見えない。ホームページを見ると、境港とか湯梨浜のホームページの子育ては綺麗でとても楽しそうに見える。それに比べたら北栄町のホームページは魅力がない。もっと楽しそうなところや、保育、子育ての様子を見せてもらったら。</p> <p>人口増加と言うけど、私は人口増じゃなくて、今いる子供たちがここに帰ってきてくれればそれでいい。出て行ってもいいけれど、ここで暮らしたい、ここで子育てしたい、と。そのためには、子育ての環境と仕事だと思っている。その子供たちが帰ってきてても仕事があるという発信力と、職種。鳥取県に帰って仕事してもいいという大人の説得力。大人が魅力を伝えていかないと子供たちは帰ってこない。やっぱり地元がいいっていう子はたくさんいて、でもなぜ帰ってこないかといったら、給料が少ない。仕事がないって。その PR の仕方を大人ができない。親が帰ってこいって言わない。帰ってきてもいいっていうような魅力を言える、そのためにホームページでもっと PR をしていただければ、子供は帰ってくると思う。</p>
会長	<p>広報が変わった。おしゃれになって。あと広報に人が載っているのが魅力的と思う。だけどホームページを見ると。</p>
委員	<p>子育てのビジョンの教育の推進で、具体的政策に点数が指標になっているが、点数を上げる</p>

	<p>必要はないと思う。勉強をすることが目的ではなってくる。YouTube や塾の先生の方が上手に勉強を教えてくれて。ではなぜ学校が必要かという、社会的な人格や、集団性。不登校の子がいるかも知れないが、この子たちがどのように町でケアされているかというところが見えれば、不登校であろうが学習や経験する場所があるということがわかれば、北栄町で子育てしようと思う。こども園の先生も、昔は受ける人が少なかったけど、最近は増えたといわれる。受験者も北栄町の保育士になりたいといって受験される方が増えたと聞いた。町での働きやすさが認知されるような数値としてあった方がいいと思う。</p>
委員	<p>中央育英はいろんな部活が盛んで強化されている。県外からも多くの人に来ていて、もう一度部活動を磨き上げれば、大きなことになっていくと思う。その中でも陸上であれば、ある程度有名な方を誘致したらいい。</p> <p>それと今、本当に多くの人々が北栄町を訪れる。日本だけではなく、海外の方も非常に多い。北栄町のコンテンツの強さっていうのが非常に際立っている。20代から40代の女性が非常に多い。そのなかでお菓子作りをしている方と話をし、北栄町はたくさん農産物があるのに、どうして加工する人がいないのか、パティシエがいないのか、と言われた。カフェや食べる場所があれば、PRにもなると思う。食べてもらうのが一番いいPRだと思うので考えてみては。</p>
委員	<p>道の駅が一つの起爆剤になるという、そういう想定だと思う。大変期待している。ホームページの話があったが、中部1市4町の中では中心になってくる部分があると思う。交通網とか、道の駅とか、農業とか。相当なポテンシャルを持っていると思っているので大変興味を持っている。</p> <p>移住・定住というか、本当に二、三ヶ月ぐらいのお試しで、職業人を引っ張ってきて、よかったら移住なり定住になると思う。仕掛けをするのは行政がするのも一つだけど、地域を盛り上げたいという民間の方が、自分の人脈を生かして引っ張ってくる方がいいと思う。</p> <p>それから教育の話、一度都会を見たらいいと思う。都会に出た方がいいに帰ってくるかという中で、親が、ここはいいところだと、頭に刷り込む。これが大事だと思う。それをどう学校教育の場でやるのか、あるいは公民館活動にするのかわからないけど、親がこういった話を子供たちに教えとか、話をし、町はこういう歴史があって、これこれこうなんだという話をしながら、ぜひ勉強してきてと。そういった話をしていくのが一番大事なと思う。そういう根っここのところをやっていないと、いくら上にいろんなものを載せてもなかなか難しいと思う。</p> <p>そういったことを、皆さんが知恵を出し合い、持ち寄ってやればいいと思う。</p>
委員	<p>道の駅ほうじょうが完成するというので、施設の内容も聞いて、大変期待をしている。</p> <p>懸念しているのが大栄と北条、両方の道の駅の距離が近いので、競合するんじゃないかと。山陰道を移動する人が多くなると思うけど、休憩場所は、今だったら大栄の道の駅が多かったり、少しずれて琴浦で休憩する人が多いと思う。北条に道の駅ができて、大栄の道の駅を利用していた人が北条の方に行くとなったら、利用者の増加が難しくなるので、特徴をはっきりさせて、目的地として寄ってもらうといいと思う。今まで琴浦や湯梨浜の道の駅に寄っていた方を北栄町のどちらかで降りていただくような形になればいいなと期待している。</p> <p>あともう一つ。2033年に鳥取県の国体がある。八頭はわかとり国体でホッケーの会場になって、八頭町がどんどん普及していった、というようなことがあるのでぜひ次の大会でそういったものを見据えながら、人を育てるといいと思う。</p>

委員	<p>商工の支援で件数が増えるということと、コナンロード周辺に新しいお店ができたことが関わりがあると思う。移住定住と観光と商工の振興は、繋がりが深いと思う。コナン通りだけじゃなくて、旧道の宿場町のよろず屋のところまでがオブジェがあるけど、その通り沿いの観光に関してのオブジェの設置とか、その他検討していくと、商工に繋がっていくのではないかと。この通り沿いは賑やかだけど、奥まで行っていただくのがなかなか難しいと感じるので、空き家対策や、商工関係をうまく繋げたらと感じた。</p> <p>教育の面、私も育英の出身で、今いろんなところで取り上げられていますけれど、特色がないと難しいと思う。今まで陸上といえば由良育英っていう特色があったと思う。小中高の連携の中にそういったところも考えてみるといいと思う。</p>
会長	<p>共通点が明らかになったと思う。この輪が、この空気が住民の方々に広がればいいんじゃないかなと感じた。閉会は事務局で。</p>
事務局	<p>皆さんたくさん意見を出していただき、それぞれの立場の強い思いを感じた。ホームページは企画財政課が担当している。いい意見だけではなく、いろんな場面でホームページのことを言われている。どうしようかと考えてる途中ですが、めまぐるしくいろんなことが変わっていく中で、特にネットの世界で置き去りにされてるっていうことで。見栄えも、更新がマメにできていないっていう課題もあり、一番難しいのが情報発信だと思っているので、考えていきたい。</p>
会長	<p>以上、会を閉会する。</p>